

スポーツ OKAZAKI



Vol.28
2023.11.1

Do スポ岡崎!
岡崎スポーツコラム
スポーツ少年団活動紹介
その他



スポーツ振興くじ助成事業

Do スポ岡崎！ ★市内のスポーツ活動を紹介します★

第43回 全日本バレーボール小学生大会



8月7日(月)から東京都で開催された第43回全日本バレーボール小学生大会に岡崎JVCが出場しました。

初日の試合には敗れたものの、2日目のリーグ戦は全勝し、着実に駒を進めていきました。ベスト8がかかった試合では、初戦で敗れたチームと再度ぶつかりました。1-1で迎えた最終セット、劣勢の試合展開から8連続ポイントで大逆転勝利！見事ベスト8に輝きました。

ベスト8おめでとう!!



令和5年度 東レアローズ男女バレーボール教室

8月9日(水)、岡崎中央総合公園体育館において東レアローズ男女バレーボール教室を開催しました。

教室には200名を超える小中学生が参加し、東レアローズの男女選手・スタッフ計28人から直接指導を受けました。

基礎から実戦形式まで約2時間しっかり指導を受けた後、最後には選手と参加者全員で鬼ごっこをし、子ども達から「もう1回!」と声上がるほど大盛り上がりでした。

激走！全力鬼ごっこ



4年ぶりのサイン会も実施



岡崎市出身の真子選手も参加



中島キャプテンからレシーブのコツを教えてもらいました

しっかりと腕に面を作る
こと、早いボールほど腕
を振らないことが大事!

メダル3つの快挙！おめでとうございます！

第11回世界シニアバドミントン選手権大会(韓国全州市9/11~9/17)に青山伸幸さん(岡崎バドミントン協会会長)が出席し、男子ダブルス70歳の部[※]で見事優勝しました。また、男子シングルス70歳の部では準優勝、混合ダブルス70歳の部では3位に入賞する素晴らしい成績を収められました。

青山さんは、「初出場で大会中は無我夢中でしたので、今は大会が終わってほっとしています。毎日試合があり、体調管理が大変でしたが、他の選手とコミュニケーションをとることができてよかったです。2年後、チャンスがあればまた出たいです。」と次の目標を語られました。青山さんは市内で活動するクラブチームの指導者として後進の育成にも尽力されています。

※70~74歳の選手が対象

金銀銅のメダルを首に掛けた青山伸幸さん



Let's スポレク

お馴染みのドッジボールをもっと気軽に!
ドッチビー

ドッチビーは、フライングディスクを使って行うドッジボールです。フライングディスクがウレタン製で柔らかいため、当たっても痛くありません。

「ドッジボールはボールが怖いから楽しめない……」という方に大変オススメです。また、狙ったところに投げることが意外と難しいところもドッチビーの魅力の一つです。



岡崎市スポーツ振興課ではスポレク器具を学区に貸し出しています。詳しくは市役所スポーツ振興課へお問い合わせください。TEL 23-6363

おかざきサタデーナイトリレーマラソン2

10月7日(土)、岡崎中央総合公園においておかざきサタデーナイトリレーマラソンを開催しました。大会には277チーム、総勢1,700人を超えるランナーにご参加いただきました。選手たちは夜の秋風を浴びながら、パワーアップしたイルミネーションのコースをタスキを繋げて走りました。



はむスター



うっちーず



入賞チーム

祝2連覇! はむスター & うっちーず

フリリレーマラソン	イケイケ男子の部	イケイケ混合の部
第1位	はむスター	うっちーず
第2位	広瀬クラブのガチ勢	どうするイヨイヨと7人の侍
第3位	岡崎市役所と茅ヶ崎市役所	アグビー
第4位	NSRT-A	天神橋ポイントクラブチーム
第5位	チームいいまち	EPF ①
第6位	いなじょうズ	HVランナーズA

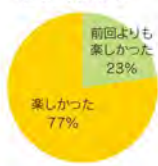
マラソン	ノリノリ男子の部	ノリノリ混合の部
第1位	RUNNING HIGH	交通安全
第2位	あああ	ブーさん神田
第3位	RUNNES	ウラヤマトラック



キラキラの部(ハーフリレーマラソン・種別なし)にはトビ賞を贈呈

アンケート結果(回収率45%)

Q1. 参加をされた感想(印象)を教えてください。



Q2. 参加されて一番良かったと思う点を教えてください。

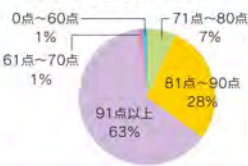
仲間、家族、みんなと走れて、絆が深まった。

イルミネーションが綺麗。

運動するきっかけになった。

※回答から抜粋

Q3. イベント全体の満足度を100点が満点として教えてください。



船水雄太プロソフトテニス教室

日時 1月8日(祝)
10時~12時 小中学生の部
13時30分~15時30分 高校・一般の部
定員 各100名
※定員を超えた場合は抽選
会場 岡崎中央総合公園 総合体育館

参加者募集中

講師 プロソフトテニスプレイヤー

船水雄太氏

ミズノ所属選手

九島一馬選手

申込期限 12月2日(土)

詳しくは岡崎市スポーツ協会HPをご確認ください。



船水雄太氏

岡崎スポーツコラム「親子で運動をするときの心得 part1」(全3回)

山下 晋

先回は、「親子で行う運動の必要性」についてお話しました。今回は、その際の心得についてお伝えします。

「子どもはできないことが当たり前」

最初は歩くことさえうまくできないように、大人にとって簡単な動きでも、初めて挑戦する運動が上手にできないことは当たり前のことで、子どもは何度も試みて、失敗を重ねてできるようになります。「こんなこともできないのか、ダメだな」という発言は、子どもを運動嫌いにしてしまいます。少しずつ取り組み、できるようになった喜びを感じられるようにしましょう。

「何度も挑戦する気持ちをほめよう」

子どもの「できた」という結果を求めたくなりますが、できなくても「何度も挑戦する気持ち」を認め、何度も挑戦するプロセスをほめましょう。もちろんできたときは、大いに褒め、一緒に喜びを感じましょう!

「子どもの気持ちと親の思いは違うときもある」

運動を怖がったり、「やってみよう」という気持ちが大きくない子どもは、親のペースで進めると楽しくなくなる場合があります。大人が「〇〇をやりなさい」と強制するのではなく、まずは、子どもがやりたい遊びと一緒にやってみるなど、子どもの気持ちに寄り添って楽しく触れ合うことを目的に少しずつ試みましょう。気持ちが向いてきたら、「次はこれをやってみようか?」と少し難しい動きや、子どもがちょっと苦手な運動に挑戦するように声を掛けてみましょう。

【略歴】

体育学博士
岡崎女子大学

子ども教育学部 教授
幼児期の運動能力と生活習慣、屋外の遊び環境について研究
著書に「親子トレ」など

